

# 山形県

## 地域医療構想の実現に向けて

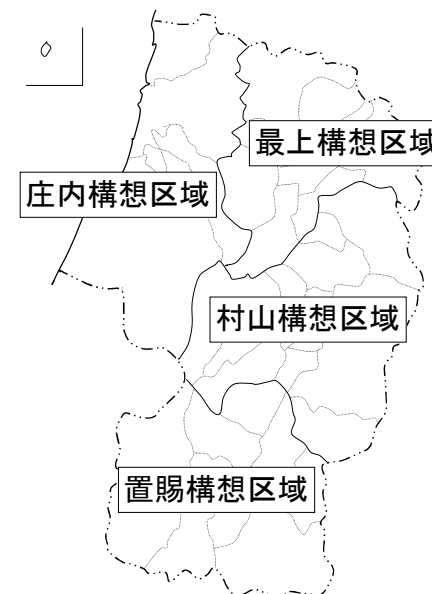
山形県では、平成28年9月に地域医療構想を策定し、既存の地域保健医療協議会に地域医療構想調整会議の機能を設け、関係者による協議を行っています。

また、調整会議の作業部会として、病床機能調整ワーキング会議と在宅医療専門部会を設置し、地域における具体的な課題等についてそれぞれ協議を行っています。

## 1 都道府県及び構想区域の基礎情報

構想区域	人口 (千人)	市町村 数	報告対象 病院数	報告対象 有床診療所			医師数	人口10 万対
				公立病 院	公的医 療機関 等	その他		
村山圏域	546	14	25	9	4	0	30	285
最上圏域	78	8	4	3	0	0	3	138
置賜圏域	215	8	13	7	1	0	10	175
庄内圏域	277	5	13	5	0	0	16	192
合 計	1,116	35	55	24	5	0	59	230

## 山形県



構想区域	平成28年度病床機能報告における病床数								2025年病床数の必要量				
	高度急性 期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	非稼働 病棟	未報告 及び 回答不備	合計	高度急性 期	急性期	回復期	慢性期	合計
村山圏域	737	3,082	700	1,262	146	146	35	5,962	523	1,687	1,431	1,232	4,873
最上圏域	5	602	84	147	53	53	0	891	43	210	236	85	574
置賜圏域	30	1,070	486	511	37	37	21	2,155	159	610	573	407	1,749
庄内圏域	432	1,234	388	577	66	66	20	2,717	208	614	698	551	2,071
合 計	1,204	5,988	1,658	2,497	302	302	76	11,725	933	3,121	2,938	2,275	9,267

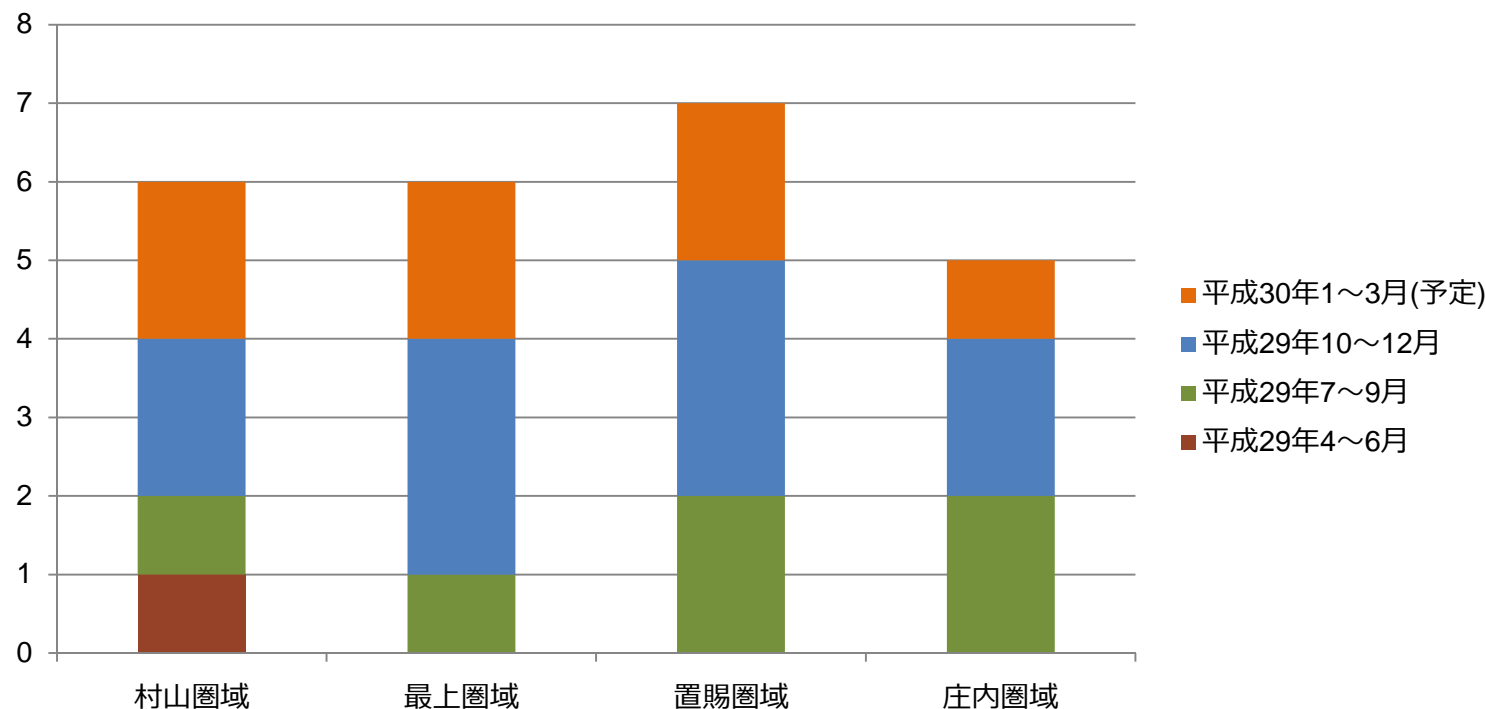
## 2 山形県の特徴

- 一般病院の病床数に占める自治体病院の病床数の割合が、47.1%（平成27年医療施設調査）と全国で最も高く、自治体病院が地域医療の中核的役割を担っている。
- 地域医療構想において、2025年の必要病床数は2015年の許可病床数に比べ県全体で21%少なく、在宅医療等需要は2013年に比べて10%増加する推計となっている。

### 3 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

#### ■ 構想区域ごとの調整会議の開催状況（開催延べ回数）

（平成29年12月末時点）

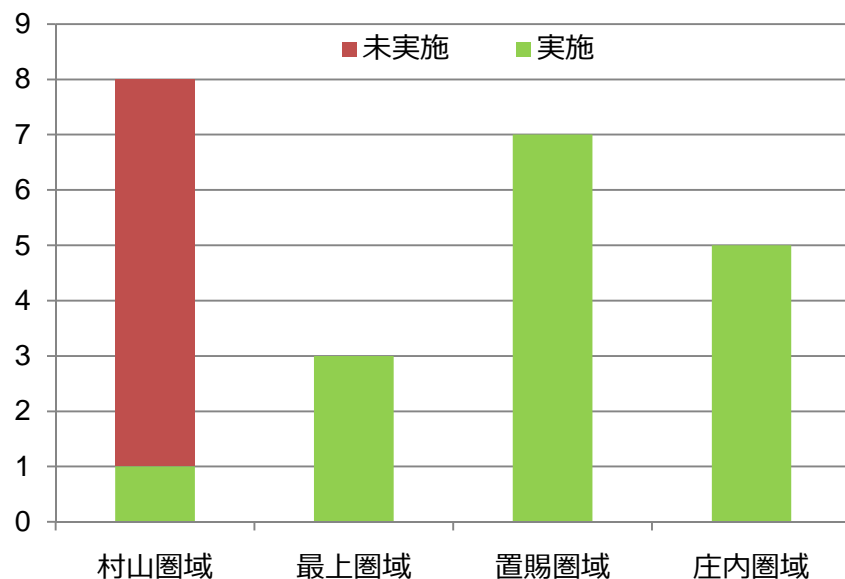


#### ■ 意見交換会等の取組例

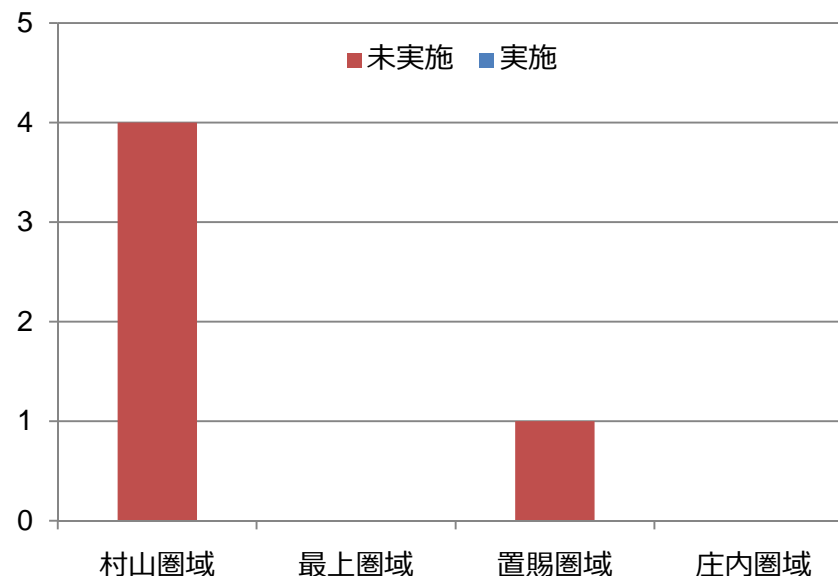
- ・ 病院の改築について、関係医師会及び自治体関係者により意見交換会を実施した。
- ・ 病院相互の医療連携のあり方について、関係病院と調整会議事務局により勉強会を実施した。
- ・ 新公立病院改革プランを踏まえた地域医療のあり方について、地域の自治体病院により検討会を開催した。

## 4 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況

■ 構想区域ごとの新公立病院改革プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



■ 構想区域ごとの公的医療機関等2025プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



### ■ プランの活用について

#### ・ 活用方法

- ① 調整会議において新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランを提示し、関係者において情報共有する。
- ② 公立・公的病院等の担うべき医療機能や病床数等について協議を行う。
- ③ それ以外の病院の担うべき医療機能や病床数等について協議を行う。

## 5 地域医療構想の達成に向けた独自の工夫

### 【病床機能の分化・連携について】

- 自治体病院に対し、2025年における病床数や病床機能、診療科、病床稼働率の目標など、具体的な見通しについて追加調査を実施するとともに、個別ヒアリングを行う。
- 民間病院に対しても、同様のアンケート調査を実施する。
- 上記2つの調査結果と公的医療機関等2025プランを併せて、調整会議等に提示し、各病院から説明のうえ、構想区域内の病院の方向性の全体像を共有する。

### 【在宅医療の拡充について】

- 県医師会等の協力により、県内すべての病院と一般診療所に対し在宅医療に関する実態調査を実施した。（回収率94.2%）

## 6 医療機関の再編・統合の参考事例

### (1) 基幹病院を中心とした地域包括ケアシステムの構築を見据えた連携

庄内構想区域の基幹病院である日本海総合病院（地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構）を中心に、医療法人、社会福祉法人、地区医師会・歯科医師会・薬剤師会による地域医療連携推進法人の設立に向けた準備が進められており、高度急性期から慢性期、在宅医療、認知症疾患への対応も含め、医療サービスから介護・福祉サービスまで切れ目のない提供体制の構築を目指す。

### (2) 基幹病院と基幹病院に準ずる病院による医療連携

置賜構想区域の基幹病院である米沢市立病院と、基幹病院に準ずる病院である一般財団法人三友堂病院との間において、米沢市立病院（地方独立行政法人化を予定）の救急医療体制を含めた急性期機能を充実させるとともに、三友堂病院の回復期機能を充実させ、地域医療連携推進法人の活用も含め、両病院の間における医療機能の分化・連携を図っていく。

## 7 都道府県としての来年度への抱負

### 地域医療構想調整会議の運営について

地域医療構想調整会議に設置した病床機能調整ワーキング会議及び在宅医療専門部会を通して、医療機関の機能分化・連携及び在宅医療の拡充に向けたより具体的な協議の促進を図る。

### 医療機関の機能分化・連携の支援について

地域の実情を踏まえ、公的及び公立病院等を中心に政策医療等に伴う医療機能の役割分担を明確にするとともに、民間の病院についても将来を見据えた具体的なプランを考えていただき、構想区域全体として計画的な機能分化・連携の促進を図る。

### 介護施設・在宅医療等の整備について

市町村・関係団体と連携し、退院後の受け皿となる、在宅医療を行う医療機関の拡充を推進することにより、医療機関の機能分化・連携と地域包括ケアシステムの構築の促進を図る。